

今年1年の地域の皆さまからのご理解とご協力に感謝いたします

東通原子力発電所の再稼働に向けた適合性審査が進んでいます



より、そう、ちから。

平成29年12月
東通原子力発電所
青森県下北郡東通村
大字白糠字前坂下34-4
電話 0175-46-3637(広報課直通)

- ▶ 当発電所の敷地内断層については、現在、原子力規制委員会による新規制基準適合性に係る審査会合において、審査が進められています。
- ▶ 今年3月に開催された審査会合では、耐震重要施設直下の断層のうち、f-2断層については「将来活動する可能性のある断層等」に該当しないことが確認されました。一方、f-1断層とm-a断層については、さらなる説明を求められたことから、その後の審査会合で説明するとともに、引き続き追加調査を行ってまいりました。
- ▶ こうした中、11月17日には、追加調査後の状況を確認するため、原子力規制委員会の石渡明委員（地質学の専門家）をはじめ13名の調査団による現地調査が行われました。調査では、追加調査の現場および、これらに関連する地層サンプルや津波堆積物のサンプルを観察いただきました。
- ▶ 断層の活動性に係わる最終的な評価については、今後の審査会合の場で議論が行われることとなります。当社としましては、今回の現地調査で原子力規制委員会よりご指摘いただいた内容を踏まえながら、審査への対応に全力を尽くし、再稼働に向けて着実に前進するよう努力してまいります。



f-1断層の現地調査状況



地層サンプル観察の様子



m-a断層の現地調査状況



電子顕微鏡による地層サンプル観察の様子

これからも地域の皆さまとのふれあいを大切にしていまいります

～写真で振り返るこの1年～

東通村歩くスキー大会
(2月18日)



実行委員会のメンバーとして、大会運営を行いました。

東通村植樹祭
(6月10日)



練習の成果を存分に発揮し、一致団結、息の合った踊りを披露しました。

ひがしどおり来さいフェスタ
(8月27日)



エネルギーに関するミニクイズに挑戦していただきました。

東通村産業まつり
(11月5日)



発電所員と協力会社社員が、可燃ゴミや空き缶などのゴミを拾い集めました。



国道338号線清掃活動
(5月10日)

苗木が立派に育ち豊かな森林となるよう、願いを込めて植えました。



ひがしどおり虹色マルシェ
(7月7日)

AOMORIバルーン集団(ねじりんご)のショーを楽しんでいただきました。



東通中学校 環境・エネルギー教室
(10月27日)

模型を使用した説明により、発電所で電気が作られるしくみを学んでいただきました。